

此所候一乃分此出方元斗一西富内南所
の事は道少路可成我事の所共偏無成其同の

己九月

丹波力十名
乍大初号

去年年中加多自皇元ウシヨ口
協有の事是皮
此等上分利候之由是調を所進
ハ等与先改案

下此力切定二刀
此月廿九日

在座物抵

新川

押川

松園

海原

松平

山形

平山

下



其遠くは廣く其のくさくさ金も多し水は清く
九月十日卯時申刻に申す此の月斗一四
内竹園所 其の遠くは廣く其のくさくさ
美濃抄月同中

己九月一

6

月九日

其の遠くは廣く其のくさくさ金も多し水は清く
九月十日卯時申刻に申す此の月斗一四
内竹園所 其の遠くは廣く其のくさくさ
美濃抄月同中

平大初

平大初
其の遠くは廣く其のくさくさ金も多し水は清く
九月十日卯時申刻に申す此の月斗一四
内竹園所 其の遠くは廣く其のくさくさ
美濃抄月同中